

【風水害】

前線に伴う降雨による防災情報 (第6報)

能代河川国道事務所

災害対策支部【警戒体制(河川)】継続

災害対策支部【警戒体制(ダム)】継続

現在降雨が終息しており、十二所水位観測所及び鷹巣水位観測所の水位がはん濫注意水位(レベル2)を下回りましたが、下流部において水位が上昇しているため、「災害対策支部【警戒体制(河川)】」を継続しております。

なお、災害対策支部【警戒体制(ダム)】も継続中です。

◆災害支部体制

区分	注意体制	警戒体制			体制解除
[河川]	[設置] 7月 22日 12時 30分	[移行] 7月 22日 13時 00分	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
	[設置] 7月 22日 11時 00分	[移行] 7月 22日 12時 00分	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分

◆管内情報

・現在までに能代河川国道事務所管内における災害情報は確認されておりません。

◆今後の見通し

・米代川の水位の高い状態が続いていますので、十分注意してください。

〈発表記者会：秋田県政記者会、能代市・北秋田市・大館市の各記者クラブ〉

《問い合わせ先》

国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所

災害対策支部(河川・ダム) TEL 0185-70-1001(事務所代表)

調査第一課長

おがさわら よしじ
小笠原 由次 (内線351)

※緊急・防災情報及び雨量・水位の情報については、こちらからご覧になれます。

(事務所HP)

<http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/index.html>

(川の防災情報・PC版)

<http://www.river.go.jp/>

(川の防災情報・スマートフォン版)

<http://www.river.go.jp/s/>

〈別紙〉

平成 29 年 7 月 22 日 21 時 30 分
東北地方整備局 能代河川国道事務所

◆米代川水位状況 (7月22日21時00分現在)

基準水位	危険度	十二所 (大館市)	鷹巣 (北秋田市)	二ツ井 (能代市)	向能代 (能代市)				
はん濫危険水位	レベル4 危険!	6.40m	7.90m	6.80m	3.40m				
避難判断水位	レベル3 警戒!	6.10m	7.80m	6.30m	3.00m				
はん濫注意水位	レベル2 注意!	3.00m	6.10m	4.50m	1.90m				
水防団待機水位	レベル1	2.50m	5.60m	3.00m	1.50m				
7月22日	21時00分	2.52m	↓	5.99m	↓	3.20m	↓	1.64m	↑
	20時00分	2.70m	↓	6.18m	↓	3.26m	→	1.49m	↑
	19時00分	2.92m	↓	6.30m	↓	3.26m	↑	1.30m	↑

【参考】河川の基準水位について



◆水防警報発表状況 (7月22日21時10分現在)

基準観測所	待機	準備	出動	解除	受け持ち区間
十二所	7月22日 12時30分	月 日 時 分	7月22日 13時00分	7月22日 19時00分	左岸：大館市比内町扇田地区から大館市円学地区まで 右岸：大館市山館地区から大館市長坂地区まで
鷹巣	7月22日 15時00分	月 日 時 分	7月22日 16時10分	7月22日 21時10分	左岸：北秋田市向黒沢地区から北秋田市蟹沢地区まで 右岸：北秋田市糠沢地区から北秋田市今泉地区まで
二ツ井	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	左岸：能代市二ツ井町麻生地区から能代市二ツ井町昭和和田地区まで 右岸：北秋田市糠沢地区から北秋田市今泉地区まで
向能代	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	左岸：能代市鶴形地区から能代市下浜地区まで 右岸：能代市天内地区から能代市落合地区まで
堂ヶ岱	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	左岸（小猿部川）：北秋田市脇神字法泉坊沢65から米代川合流点まで 右岸（小猿部川）：北秋田市脇神字堂ヶ岱屋敷廻60から米代川合流点まで

◆森吉山ダムの状況 (7月22日21時00分現在)

流域平均雨量：89.1 mm
貯水位(EL)：158.30 m
ダム流入量：104.2 m³/s
ダム放流量：40.7 m³/s
ダム調節量：63.5 m³/s

全放流量(発電含む)：40.7 m³/s
(ダムから下流に流す水の量)

